

第三者審査委員会

「eco!on」の認定は、社内だけの審査ではなく、専門家や有識者の方々による第三者審査委員会で審議していただいています。審査基準を満たした商品だけを「eco!on」として販売しています。

審査は、「eco!on」申請書と添付資料を基に行い、特に商品開発担当者の「環境配慮への思い、ストーリー」について審議します。その思いの中には「現在だけではなく未来の地球環境に対する責任」や「購入していただくお客様へのメッセージ」「生産者のこだわり」などが入っています。また、生産現場や農場視察などをし、実際に製造や生産段階の確認をする審査の項目が含まれています。



審査の様子



第三者審査員主要メンバー（写真左から）

- 名古屋大学大学院環境学研究科 佐野 充教授
- 社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 中部支部副支部長 尾関さゆりさん
- 株式会社フルハシ環境総合研究所代表取締役社長 船橋康貴さん

ユニーの環境活動を応援

ユニーが、商品を購入する消費者が「持続可能な社会の構築」に参画できる仕組みを「eco!on」で実現しようとしていることを高く評価します。ユニーは環境に配慮した経営に留まるのではなく、本業の中に環境を企業戦略として積極的に取り込み、環境対応商品・サービスを企業の強みとしています。省エネ・省資源・省時間・低廃棄物で経営を効率化し、低廃棄物でリスクを減らし、持続的な発展ができる企業経営を図っていかないと考えている、そのようなところを応援します。

名古屋大学大学院環境学研究科
佐野 充 教授

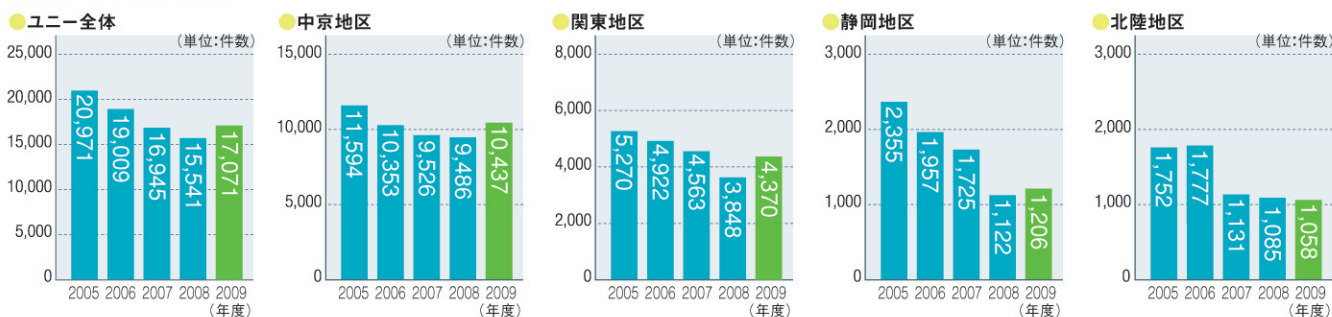
▶ 家電リサイクル

家電リサイクル券取扱優良店の認定

家電リサイクル法が施行されて10年ですが、年々取り扱い数は減少しています。2009年度は、地デジ対応テレビの販売が好調なため、引き取り台数が若干増えました。名古屋市などで大型家電のリサイクル以外に、携帯電話や小型家電のリサイクル回収の取り組みが検討されています。



家電リサイクル状況



▶ ケナフパルプ素材を配合した環境配慮型値札

衣料品の値札は100%木材を原料とした木材パルプを使用していましたが、現在では全店舗でケナフパルプ30%と木材パルプ70%を組み合わせで配合した「環境配慮型値札」を採用しています。これにより、衣料値札の木材パルプ使用量を30%削減することができ、立木では概算184本／年間の森林資源の保護につながりました。

